

# 鳥取県感染症対策センター(県版CDC) 第5回ミーティング

➤ 日時:令和5年8月1日(火) 午後4時15分から

➤ 出席(予定): 平井知事

福祉保健部長、感染症対策局長、健康医療局長

感染症専門監 鳥取大学医学部 千酌教授

鳥取市保健所、倉吉保健所、米子保健所

衛生環境研究所

(事務局)感染症対策局

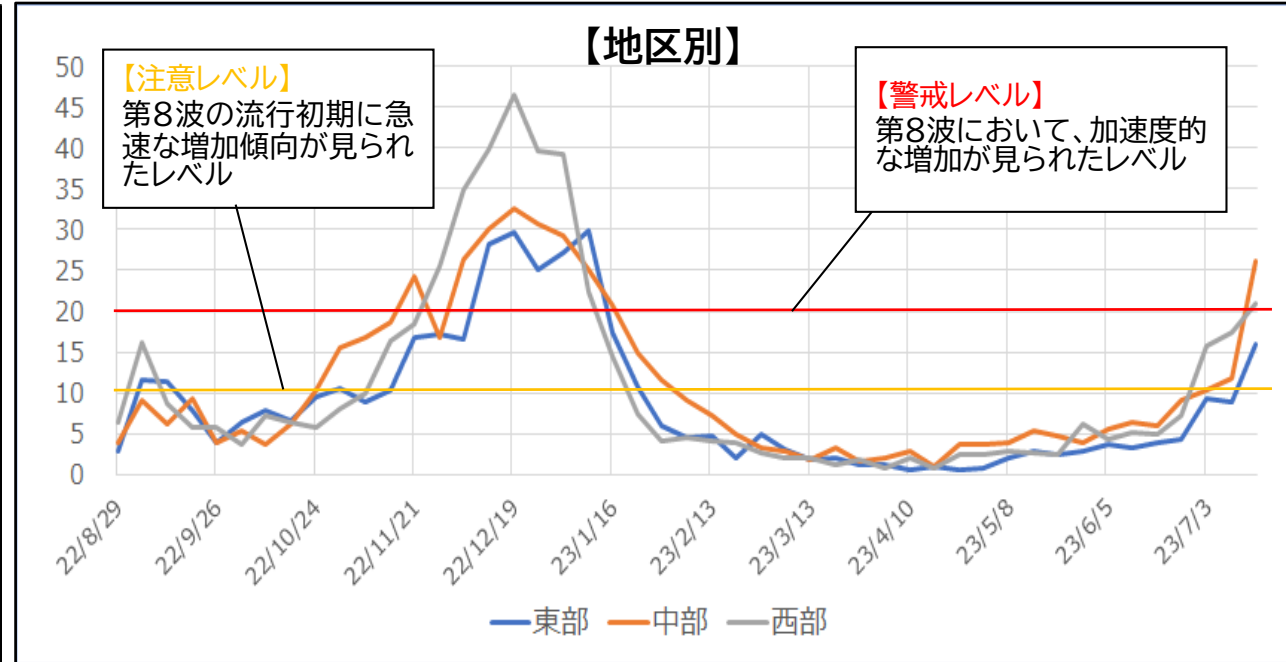
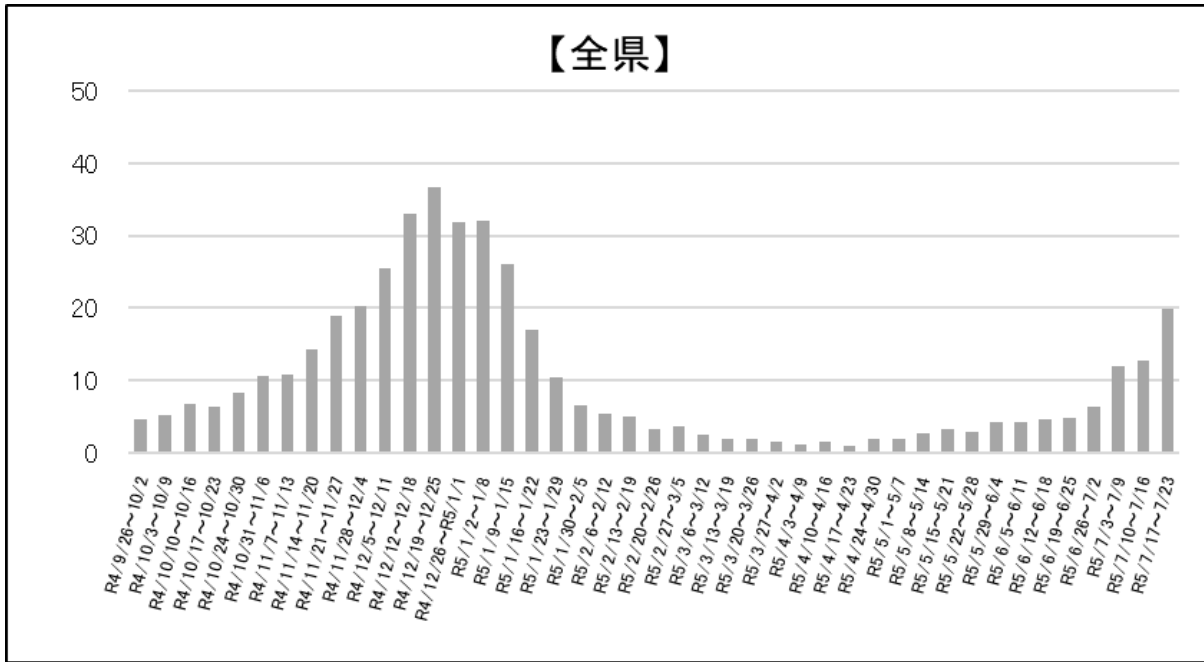
➤ 内容:

(1)新型コロナの感染動向・入院状況等

(2)感染拡大を踏まえた対応等

(『新型コロナ警報』の注意報の発令 他)

# 新型コロナウイルス感染症の患者数の推移(～第29週)



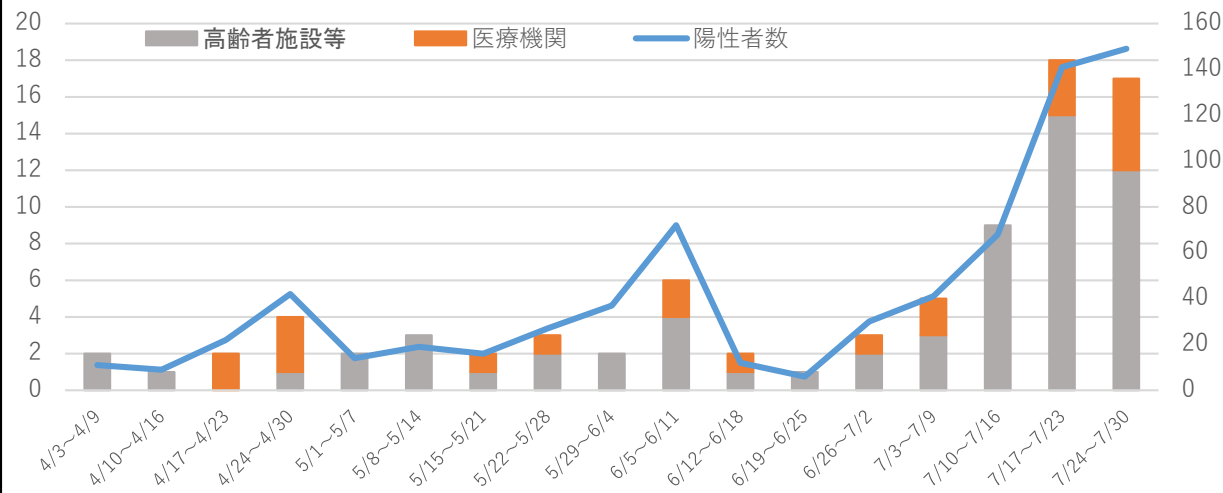
(数値データ)

区分	患者数(週・定点当たり)											
	29週(7/17-7/23)			28週(7/10-7/16)			27週(7/3-7/9)			26週(6/26-7/2)		
	定点	患者数	前週比	定点	患者数	前週比	定点	患者数	前週比	定点	患者数	前週比
東部	16.00	192	1.81	8.83	106	0.95	9.25	111	2.18	4.25	51	1.09
中部	26.17	157	2.21	11.83	71	1.15	10.33	62	1.15	9.00	54	1.50
西部	20.91	230	1.20	17.36	191	1.10	15.82	174	2.18	7.27	80	1.45
県全体	19.97	579	1.57	12.69	368	1.06	11.97	347	1.88	6.38	185	1.34

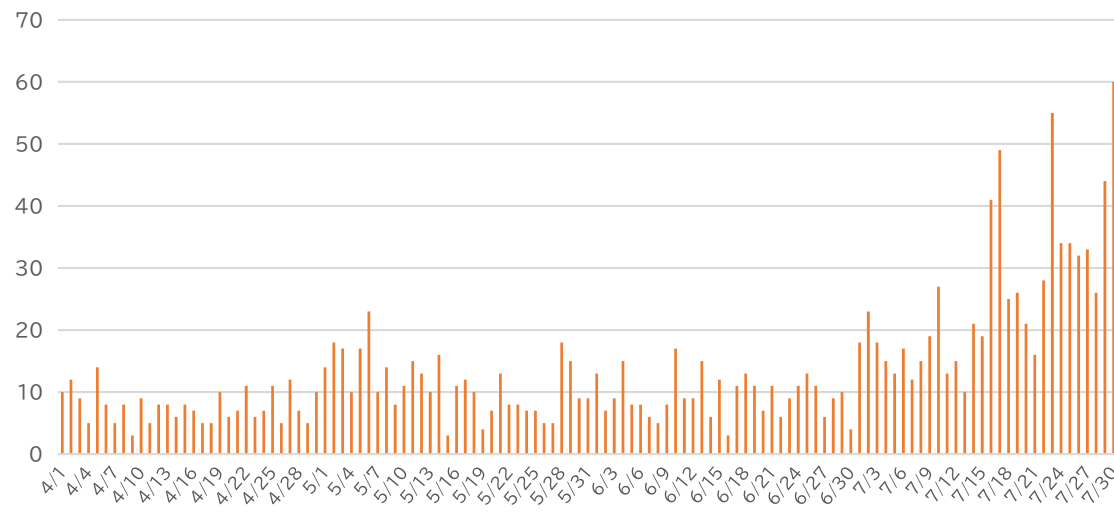
流行情報の発出【地区毎】		
区分	(指標・目安)定点当たりの患者数	レベルの説明(第8波と同程度の拡大推移とした場合)
注意	10人/週	今後の感染拡大に注意が必要なレベル
警戒	20人/週	急速な感染拡大、感染者数の増大に警戒が必要なレベル

# 指標からみた新型コロナウイルス感染症の動向

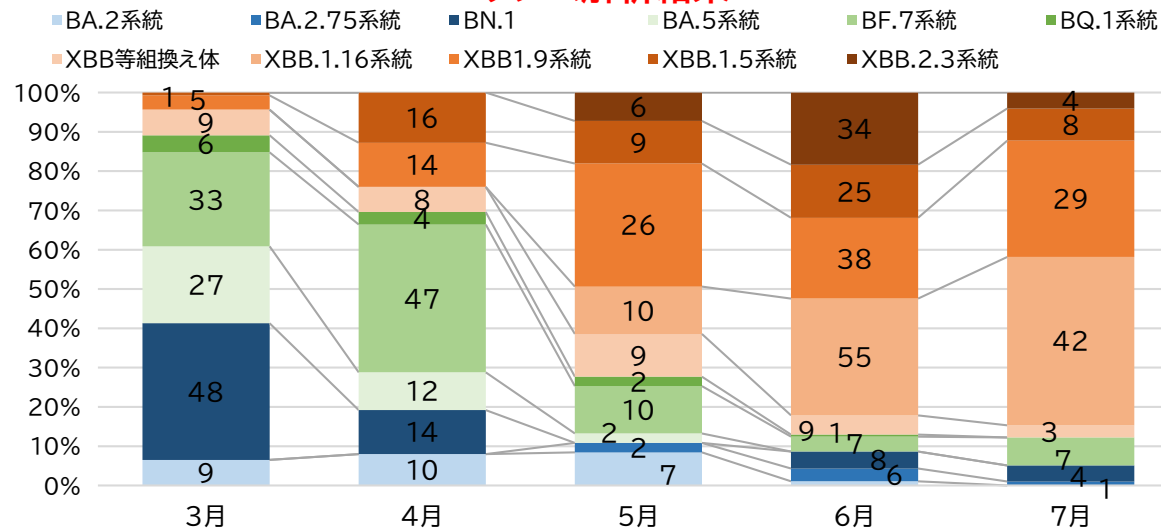
**ハイリスク施設における集団感染の発生件数  
及び施設内新規陽性者数**  
(5名以上の陽性者確認施設、認知日ベース)



**新型コロナ相談件数** 相談・支援センターへの相談件数  
(~5/7までは受診相談センター)



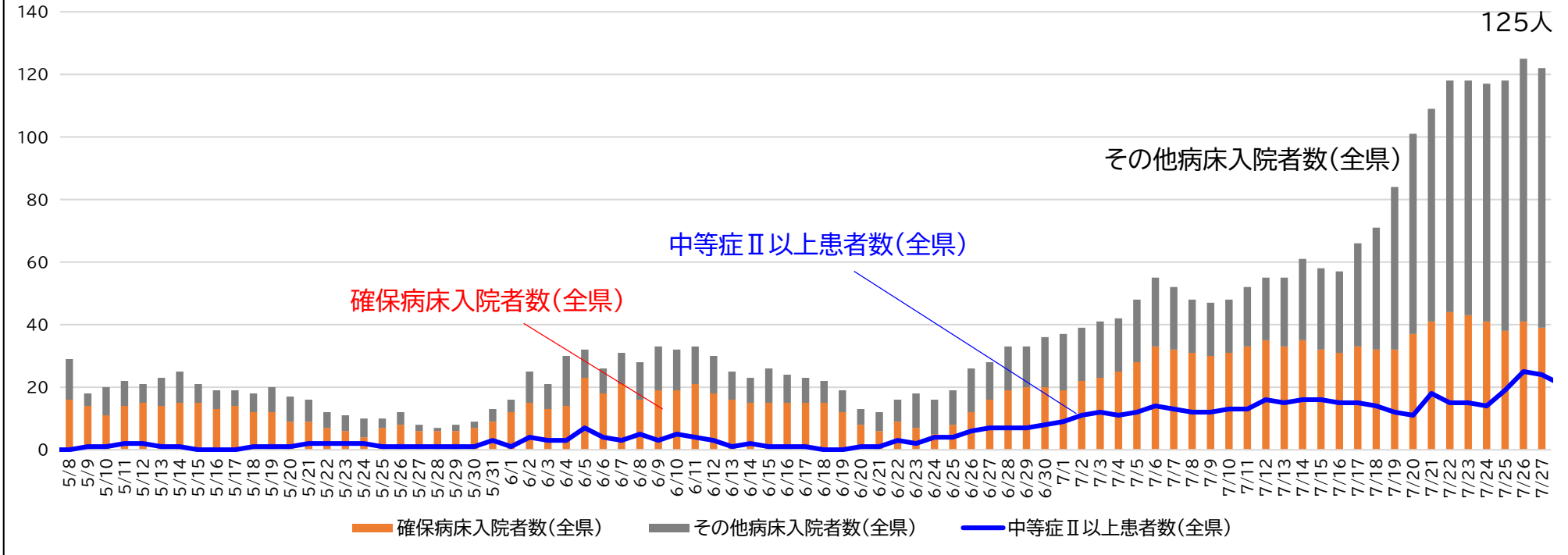
**ゲノム解析結果**



- 7月中旬以降、高齢者施設等、医療機関の集団感染の発生件数、相談件数ともに顕著に増加。
- ゲノム解析では、組換え体のXBB系統が8割以上であり、従来のオミクロン株の系統が継続。  
⇒重症化リスクは低いとされるが、感染力は強い。

# 新型コロナ患者の入院等の状況

## 新型コロナ入院患者数及び中等症Ⅱ以上患者数



参考:【第8波における圏域ごとの最大入院者数】(カッコ内は日付)

区分	東部	中部	西部	合計	全県域
全コロナ患者入院者数	148 (12/30)	136 (1/13)	203 (12/31)	487	438 (1/10)
コロナ病床入院者数	71 (12/12)	26 (1/8)	99 (1/3)	196	186 (12/12)
中等症Ⅱ以上入院者数	19 (1/10)	11 (1/12)	21 (1/15,16)	51	44 (1/12)
コロナ病床外入院者数	90 (12/30)	115 (1/13)	112 (12/31)	317	257 (1/10)

- 7月下旬から入院者数の増加が顕著
- 全入院者数は、第8波の3割近い水準になり、中等症Ⅱ以上患者数も増加。
- 一般病床での受入れが、全体の2/3を超える状況。

# 現在のコロナ確保病床

- 確保病床は、5類化移行にあたり、基本的に中等症Ⅱ以上の患者の円滑な受入れを目的とし、経過措置として9月まで確保。 コロナ患者は、確保病床に限らず、全病院で受入れ対応。
- コロナの確保病床(即応病床)数は、フェーズⅡ(109床)を基本としてスタート  
 ➔ 7月以降は、フェーズⅠ(67床)で運用。
  - ・ 第8波での中等症Ⅱ以上の最大入院患者数51名を上回る病床数として設定
  - ・ 一般病床におけるコロナ患者の受入れが進んでおり、通常医療への移行を進める上で、確保病床は段階的に減らしていくべきとの医療機関からのご意見を踏まえ対応
- なお、中等症Ⅱ以上の患者数と確保病床(即応病床)数に着目して、医療への負荷の程度を目安としてお知らせする『新型コロナ警報』を暫定的に運用することとしている。

## 【5月8日以降の病床確保計画】

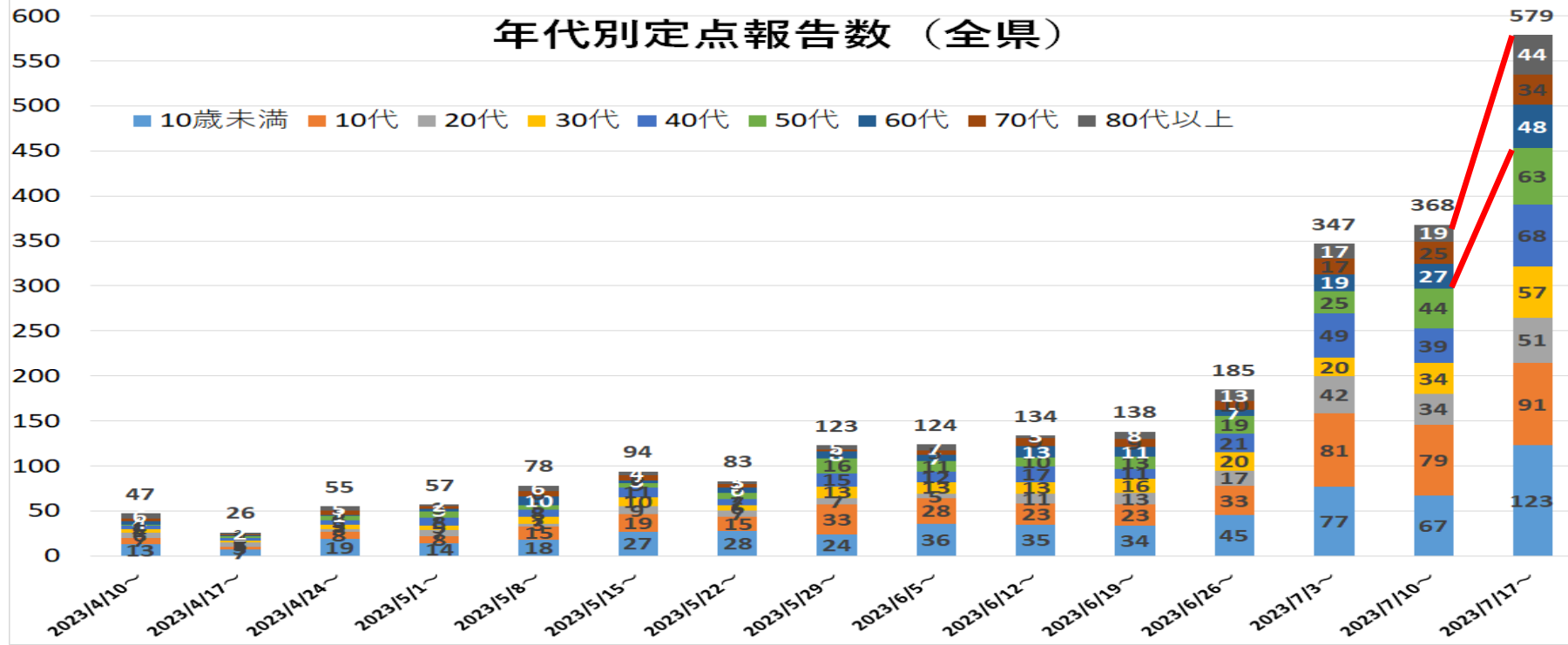
フェーズ	東部	中部	西部	合計
Ⅲ	116床	47床	124床	287床
Ⅱ	45床	15床	49床	109床
Ⅰ	27床	11床	29床	67床
【参考】第8波における中等症Ⅱ以上の入院者数の最大値	19人	11人	21人	51人

新型コロナ警報 [発令区域:全県]		
発令区分	発令目安 (中等症Ⅱ以上の患者数)	その他の項目
注意報	即応病床数の概ね20%超	・全入院者数 ・即応病床使用率 ・新規感染者数 等
警報	即応病床数の概ね40%超	

※発令・解除は、発令目安に加え、各種のモニタリング項目も考慮し、県版CDCで総合的に判断

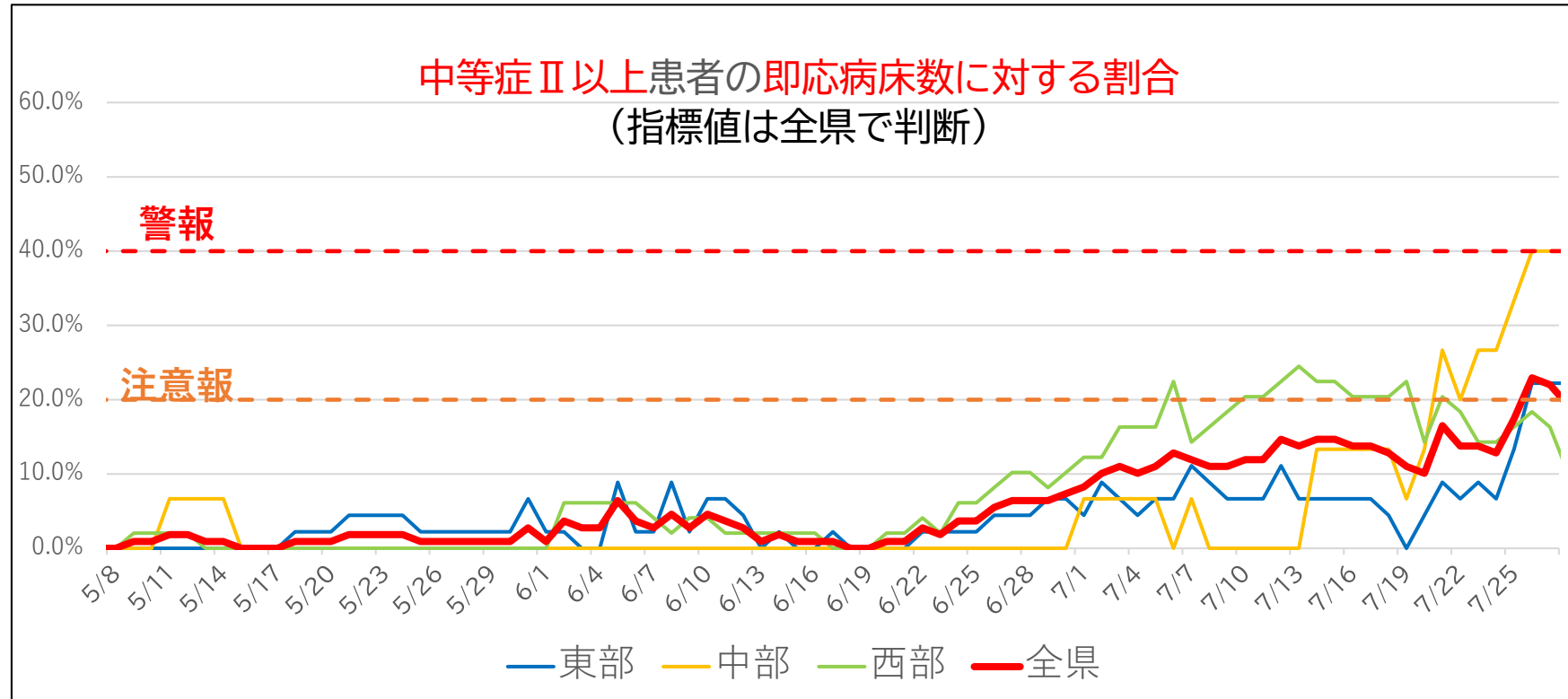
# 現在の新型コロナ感染動向・見通し(まとめ)

- 患者数は、4月下旬から緩やかな増加傾向を示していたが、27週(7/3～7/9)で各地区とも急増。
- 第7波や第8波と同様な増加傾向を示すとすれば、当面、加速度的な増加が続き、お盆前後がピークとなる可能性が考えられる。
- 全ての年代で患者が増加しており、第29週(7/17～7/23)では、特に80代以上の方を含め60代以上の患者の割合が増加。
- 高齢者層の増加に伴い、さらに入院者数も増加する可能性が高いと考えられる。



60代以上の割合の増加

# 『新型コロナ警報』の注意報の発令の検討



※即応病床数(母数)は、フェーズⅡの数値で計算

- 中等症Ⅱ以上の患者数が即応病床数(フェーズⅡ)の20%を超えるとともに、主要な医療機関で集団感染が発生しており、今後のさらなる入院者数の増加による医療への負荷が懸念されるため、本日、『新型コロナ警報』の注意報を発令してはどうか。
- 発令にあたり、改めて、全病院での入院受け入れをはじめ、「命と健康を守るために必要な医療体制の確保」のため関係者の理解・協力を図ることとしてはどうか。

# 『新型コロナ警報』の注意報の発令にあたってのお願い事項 ～感染拡大防止を図り、医療を守るために～

## 【県民向け】

- 夏休み、お盆の時期、帰省や大人数で集まる機会が増えますが、手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用といった感染防止を心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。
- 発熱や風邪症状など感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、受診しましょう。重症化リスクの高い方や他の重篤な疾患の診療に影響が及ばないよう、救急外来を含め医療機関の適正受診をお願いします。
- 医療機関や高齢者施設で入院・入所中の方と面会される際は、施設のルールに従って対応しましょう。
- 体調が悪い場合や陽性が判明した場合は、無理せず自宅で安静に過ごし、周囲にうつさない配慮をお願いします。



# 『新型コロナ警報』の注意報の発令にあたってのお願い事項 ～感染拡大防止を図り、医療を守るために～

## 【医療機関向け】

- 院内感染対策の再点検・レベルアップ、治療薬の早期投与、高齢者福祉施設等の協力医等として施設内での陽性者の早期発見、早期治療、必要な入院調整等をお願いします。
- 全ての病院におけるコロナ患者のさらなる入院受入れ、回復患者の受入れ等の後方支援、高齢者福祉施設等の嘱託医、協力医等からの入院調整への対応等を改めてお願いします。

## 【高齢者福祉施設等向け】

- 感染防止対策の徹底、嘱託医・協力医・利用者のかかりつけ医と連携した陽性者の早期発見、早期治療、必要な入院調整、施設内療養体制の確保、退院患者の受入れ等をお願いします。